

ふるさとの昔 ①

十二社神社の地歌舞伎

深萱の十二社神社の境内にある拝殿には、回り舞台が設けられて農村舞台になっています。回り舞台は、芝居の場面転換をすばやく行うための装置です。床面に円形に切った「盆」を作り、床下の盆の裏に心棒を二か所挿入し、人の力で回します。

農村舞台では江戸時代の末から、お祭りに地元の素人たちが出演する地歌舞伎が行われていました。地歌舞伎は神に奉納するもので、神事後の男子十二人による「子踊り」に続いて上演されました。最盛期は明治二十年代から三十年代だったようです。戦争中に途絶えていた地歌舞伎は戦後復活しましたが、昭和三十三年の興行が最後になりました。「子踊り」は現在も四月のお祭りに行われています。



農村舞台で地歌舞伎を演じた深萱の人々

広報文芸

町民俳句 文化協会さかはふり俳句会

春塵や木彫の熊の目になみだ
雨止んで揺り起されし春の庭
仏壇に水仙の香や吉報待つ
桜咲く医学への道真直に
まづ難賞で句会場にぎにぎし
のどあめを舌に遊ばせ春の風邪
立てかけて春の埃のゴルフバック
雨となる風ふくみけり花三分
花菜畑風に声あり色のあり
一片を句帳にこぼし花タベ

岡本 憲子
岡本 憲子
岡本 憲子
小関 美砂子
小関 美砂子
恩田 いせ子
恩田 いせ子
伊藤 文
伊藤 文
伊藤 文
兼松 禎子
兼松 禎子
兼松 禎子



さかほぎちゅう!
パーソナリティ: 小栗かおる
毎月第三火曜日
18時~18時20分

次回ゲストは、KARADA1 幸喜さんです。
お楽しみに!

#全体 #沖縄

スマートフォンでもFMららを聴くことができます。
FMららアプリダウンロードはこちらから。



5月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。

不燃ごみ収集日 21日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。
金物、ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。
袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 19日(日)

時 間: 8時~10時
場 所: 町内各自治会公民館
収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、
水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池



おくやみ

林 久司 様 (取組) 75 歳